

## はじめに

中央図書館のM3階の書庫で水木洋子から遺贈されるという膨大な資料の山を初めて目にして、思わず立ちすくんだのは12年前でした。市の呼びかけに応じて月に3日の分類・整理作業を手伝うボランティア活動に入り1年後に立ち上げた市民サポーターの会も10周年の節目を迎えました。

その活動の歩みは毎年「水木洋子市民サポーター活動の記録」に集約されて、もう11冊になります。繰り返していくと、その時々の資料整理はもちろん、業績を顕彰するために市と連携しながら積極的に進めてきた名作映画の鑑賞会や貴重な映画遺産の紹介、また水木邸の一般公開などの記録に埋まっています。

文学館のあり方を学ぶために各地に足を運び、パソコン、展示の工夫、庭の管理などの研修に明け暮れた時期もありました。2010年3月から11月へかけての生誕100周年フェスティバルでは16本もの映画鑑賞会や文学プラザでの長期企画展などの多彩な行事を繰り広げて、大きな花を咲かせることもできました。

この10年、水木洋子を語り継ぐために私たちが手を携えて歩いた道と年を追って少しずつ夢を実現させてきた足取りを、この記録で詳細にたどることができますが、10冊を超える量になると、調べる手間も大変です。年ごとに活動データを抜き出して1冊にした10年誌にまとめられないかという着想から編集に取りかかりました。

初期の「活動の記録」には活動データが不十分なところがあり、文化課からの「お知らせ」類で補足する必要があったり、年譜の行間を探っていく補充調査に戸惑ったりと、かなり時間のかかる作業になりました。市川市が水木洋子と関わり始めた前史部分について、面白い話を聞かせて下さった市の職員4氏に、また講演会の記録の再録を承知して下さった佐藤忠男、川本三郎両氏に改めてお礼申し上げます。

2013年8月

水木洋子市民サポーターの会10年誌編集委員会

## 目次

### はじめに

1. 会を立ち上げるまでの経緯	3
2. 業績顕彰へ向けて一歩ずつ	8
3. 見る、聞く、学ぶ、調べる	19
4. 水木邸公開・文学プラザ軌道に	33
5. 生誕100年へカウントダウン	45
6. 祭りの成功と新たなる挑戦	60
7. 市が関わり始めた前史～職員に聞く	75
8. 二つの講演会から	78
9. サポーターのレポートより・一覧	90
10. 会のこれからを考える	121
資料(1) 入会を呼びかける趣意書・会則	125
(2) 「脚本家/水木洋子の世界」展 映画鑑賞会	126
(3) 文化庁の助成金を受けた研修講座	127
(4) 生誕100年記念行事	129
(5) 文学プラザの記念展・企画展	131
(6) 施設見学の研修・文学散歩など	132
(7) 新聞・雑誌に紹介された活動	133
(8) 映像・音声に残った活動の記録	139

編集を終えて

(カット 宮下公子)

### 凡例

- ・この記念誌は「水木洋子市民サポーターの記録」1～11(2001年8月～2012年8月)をもとに10周年を迎えたサポーターの会の歩みをまとめたものです。
- ・6章に分けた年表の本文では人名の敬称を省略しました。
- ・掲載されている記事・写真の無断転載を禁じます。